

# 「中期ビジョン」に盛り込むことが考えられる事項

## 将来ビジョン

### 複線的金融システムへの再構築の必要性

(金融システムを取り巻く経済環境の変化と今後の金融システムに求められる諸機能)

我が国経済は、1980年代に既にキャッチアップ段階を終えてフロントランナーに位置し、産業分野での不確実性が増大。更に、近年、グローバル化やIT化が急速に進展し、国際競争が激しさを増す中で、既存産業の空洞化が進行する等、我が国経済の活力は低下している。このような状況の下、金融システムが対応しなければならないリスクが増大。

金融システムの基本的機能としては、決済機能、資金仲介機能があり、このうち資金仲介機能についてはリスクシェアリングが適切に行われることが必要であるが、現状、増大するリスクを支えきれていない。また、企業の成長段階等に応じて適切に資金仲介が行われ、その過程で情報の提供機能等が発揮されることが期待されているものの、これらの機能についても十分に発揮されているとはいえない。

こうした金融システムの諸機能を十分に発揮させることが産業分野の再生に貢献し、ひいては我が国経済の活性化に資するものと考えられる。

資金供給サイトの資産運用については、個人等の資産蓄積が進んでいるが、預金等の安全資産への志向が依然として強く、市場に対する信頼性を確保するとともに、多様なリスク・リターン関係を有する金融商品が提供され、金融システム全体で幅広くリスクテイクが行われることが必要。

(複線的な金融システムへの再構築の必要性)

上述したような金融システムに対する要請に応えるため、今後の金融システムにおいては、産業金融モデルも存続するが、リスクを発見し、管理し、配分するためには、市場金融モデルの役割がより重要になるという意味で、市場機能を中核とする複線的金融システムへと再構築する必要。

いずれのモデルにおいても、適正なリスク評価に基づくリターンの確保が重要。

産業金融モデル = 銀行中心の預金・貸出による資金仲介  
市場金融モデル = 価格メカニズムが機能する市場を通ずる  
資金仲介

**複線的金融システムへの再構築に向けた取組み  
(金融仲介機関の基本的方向性)**

金融システム改革を始めとする制度改革により、環境整備は進められてきており、金融仲介機関自身が様々な課題に積極的に取り組む必要

3つの基本的方向性

- ・ 適正なリスク評価に基づくリターンの確保
- ・ 金融仲介機関の機能の分化、専門化
- ・ 多様な金融商品の提供、アクセスの改善

**(企業・個人)**

多様化する資金調達・資産運用ニーズに対応する金融商品やサービスが提供されていく必要があるが、企業・個人についても新たな金融システムに対応した行動が求められる。

個人投資家の意識改革と利用者保護

**(行政の取組み)**

金融仲介機関の競争促進のための環境整備

市場機能を中核とする金融システムの将来を十分に担える市場とするよう、信頼性確保や効率性向上等のための市場整備  
複線的金融システムの早期構築に資する施策への積極的取組みが必要

業態を主軸とした金融行政から機能を主軸とした金融行政への一層の転換

**複線的金融システムの姿**

**(複線的金融システムへの転換)**

ホールセール金融の姿

- ・ 市場金融モデルへの一層の転換が望まれる。
- ・ ホールセール金融においては、企業による市場からの資金調達のほか、貸出債権の証券化が進展。これにより、金融仲介

機関は、リスクの移転という機能を果たすとともに、市場の持つ価格メカニズムを通じて適正なリスクとリターンの関係を確保することができる。

#### リテール金融の姿

- ・ 中小企業や個人等を対象とするリテール金融においては、リレーションシップを重視する産業金融モデルが依然として有効。ただし、産業金融モデルに基づきながらも、リスク管理の手法と能力を高めていくことが必要。

#### その他

### (複線的金融システムにおける市場型間接金融の役割)

市場における資金仲介は、機関投資家が仲介する市場型間接金融が大きな役割を果たす必要。

機関投資家は、市場取引に係る技術的専門性のほかに、規模の利益を追求しうること、分散投資を通じたリスク低減効果を利用しうることなどから、個人と市場を結びつけるものとしてより大きな役割が期待される。

市場機能を中核とする複線的金融システムにおいて、機関投資家は、株や債券への投資の他、銀行が組成した証券化された貸出債権等の引き受けを行う者としてその存在が大きくなっていくことが考えられ、最終的な受益者のエージェントとしての責任を果たすとともに、その過程で投資対象に対してガバナンス機能を発揮することなどが必要。

### (国際競争力の確保 :アジアとの共生)

国際的な市場間競争の中で、金融システムの国際競争力を確保する必要

金融面・実体経済面でアジアの地域統合の軸となる役割を担うことが、この意味でも一層重要

## 将来ビジョンへの架橋として取り組むべき課題

### 基本的考え方

複線的金融システムの構築に向けて、  
複線的金融システムにおいて機能を適切に発揮できるように金融  
仲介機関のビジネスモデルの転換等  
複線的金融システムにおいて重要な役割を担う証券市場の改革  
促進  
複線的金融システムの早期構築に資する施策への積極的な取  
組み

金融仲介機関のビジネスモデルの転換等  
(金融仲介機関のビジネスモデルの転換)

金融機関  
証券会社  
保険会社

(合併促進策)

(決済機能の安定確保)

(不良債権問題)

証券市場の改革促進

複線的金融システムの早期構築に資するその他施策への積極的な  
取り組み

(公的金融)

(金融商品に関する税制) 等